

# 令和5年度第3回 大分県ツーリズム戦略推進会議

日時: 令和6年3月25日(月)15時00分～  
会場: 大分県庁新館13階133会議室



日本一のおんせん県おおいた  みりよく 味力も満載

大分県商工観光労働部  
観光局 観光政策課

# 1. 令和5年度大分県ツーリズム戦略 関連事業実績（見込）

## 国内誘客総合推進事業

### ○地域資源活用型観光サービス開発補助金

・観光消費を拡大するため、自然、歴史、食など地域資源を活かした体験型観光コンテンツの開発に取り組む事業者を支援

・令和5年度 採択数 18件

アドベンチャーツーリズム関連等 8件

例) 星空鑑賞の体験ツアー、紅葉パッキング

destinationキャンペーン関連 10件

例) 天ヶ瀬高塚愛宕地蔵尊のライトアップ



星空鑑賞の体験ツアー



紅葉パッキング



天ヶ瀬ライトアップ

## OPAMを拠点とした観光循環創出事業

### ○地域文化資源を活用したイベント開催

・別府竹細工組合と連携し、本県を代表する文化資源である「竹工芸」をテーマに、竹と灯りのイベントを開催

・ワークショップや作品のライトアップ、音楽イベント等を実施するとともに、臼杵、日田、竹田で開催される竹灯りイベントへの周遊を促した



竹会 (OPAM1Fアトリウム)  
R5.10.17~11.4

## 大分のサイクル魅力発信事業

### ○「CyclingOita」の情報発信

・大分県が設置したWEB(HP、Instagram)にて観光サイクルコースやガイド等を紹介

### ○サイクルツーリズムスタートアップワークショップ開催

・レンタサイクルビジネスに必要なメンテナンス講習や差別化を図るサイクルガットの基礎講座を実施(32名参加)

### ○サイクルカーゴを使ったモニターツアー

・自転車をそのまま積めるバスを使い福岡発着のモニターツアー実施(12名参加)



WSでのメンテナンス講習



サイクルカーゴとツアー参加者

## 国内誘客総合推進事業（再掲）

### ○アドベンチャーツーリズムの推進

- ・大分らしい新たな体験型コンテンツ創出に向け、専門家の伴走支援によるコースの磨き上げ、ファムトリップ、シンポジウムでの紹介、モニターツアーを実施



豊後高田市のモデルコース

- ・R5年度実績 モデルコース3コース  
 佐伯市（SUP体験やサイクリング）  
 豊後高田市（ロングトレイルやダウンヒルサイクリング）  
 豊後大野市（トレッキングや座禅体験）



豊後大野市のモデルコース

## ツーリズム推進基盤強化事業

### ○アウトドアガイド認証制度

- ・R5. 8月に、アウトドア活動の活性化と安心安全な旅の提供のため、アウトドアガイド認証制度を創設  
 R5年度ガイド登録者 15名



安全講習

- ・主な活動  
 安全講習  
 フィールドの異なるガイド間の情報交換（ガイドミーティング）  
 認証制度ロゴマークの決定



ロゴマーク

## 「山の日」レガシー推進事業

### ○ウェブサイト「オオイトおそと時間」

- ・県内の豊かな自然環境と魅力あるアウトドアアクティビティに関する情報発信を目的として、R5. 3月にサイト開設
- ・ウェブ記事はアウトドア体験や初心者向けレクチャー等、計20件掲載
- ・PRイベントはR5年度2回実施し、計120名が参加（3回目は令和6年3月実施予定）
- ・アウトドアガイド認証制度と連携して、制度紹介記事や登録ガイドを掲載



## インバウンド推進事業

### ○観光コンテンツの高付加価値化

- ・農業や漁業等の体験を通じて文化や自然等に触れるコンテンツの掘り起こしやその商品化に向けた取組を実施
- ・モデルコース造成（季節別の計4本）
- ・商品化に向けたコンテンツ事業者向け研修  
 （10・11月、延べ参加者85名）
- ・国内ランドオペレーターとコンテンツ提供事業者等とのマッチング交流会実施  
 （12月、ランド22社、事業者20社参加）



コンテンツ例（ヒオウギ貝）



マッチング交流会



## デスティネーションキャンペーン推進事業

- 大分県DC実行委員会総会(R6.2.13)
- 福岡・大分DC実行委員会総会及び共同記者発表(R6.2.19)
  - ・両県知事からDCのイチ推し企画、特別企画などを説明
- 「至福」の「大吉」旅まつり！(R6.3.16 大分駅前)
  - ・大福1,000個配布、おもてなしフラッグワークショップなど
- オープニングイベント
  - ・博多駅 R6.4.6-7 ※セレモニー 4/6 12:15-13:15
  - ・大分駅 R6.4.6-7 10:00-17:00
  - 団体臨時列車お出迎え、ステージイベント、飲食ブース等



## 国内誘客総合推進事業（再掲）・国内観光需要回復促進事業

- デジタルマーケティングを活用した情報発信
  - ・過去データより設定したペルソナに応じた情報発信を展開
  - ・広告配信やアクセス状況を定量的に分析・運用し情報発信の最適化に反映
- ミッドナイトおおいたを活用した誘客促進
  - ・R4年度制作したコンテンツをブラッシュアップし活用しながら夜の魅力を発信
  - ・ナイトタイムエコミーの消費分析や広告接触者の来訪計測も実施
- 「さ、全力おもてなしだ。」による機運醸成と誘客促進
  - ・県内全体のおもてなし機運醸成と県外に向けた観光PRをお風呂掃除で表現
  - ・テレビCMやYouTube広告等で配信し、おんせん県ならではのPRを展開



ペルソナに対応したLP



ミッドナイトおおいたのLP



## おおいたブランド戦略強化事業

### ○宇宙ノオンセン県オオイタ プロモーション(第3弾)

- ・PR動画の制作・配信(4本)
- ・SNS(X・Instagram)展開
- ・「宙フェス」ブース出展(11月) など



### ○webメディア「edit Oita」

- ・大分の意外な魅力を伝える記事の配信(4~3月:54本)
- ・読者を対象にしたイベントの開催(8月・東京) など

### ○PR会社を活用したパブリシティ

- ・大分の旬な話題を紹介するレター等の配信(国内:20本)
- ・メディアツアーの開催(国内・海外:12月)など

## 広域ツアーズ推進事業

### ○九州横断(長崎・熊本・大分)連携

- ・在京メディア向け情報発信  
(R6.1.19 坐来大分 15社32名参加)
- ・3県アンテナショップ周遊お買い物ラリー  
(R6.1.10~3.6)



坐来大分での情報発信

### ○東九州(大分・宮崎)連携

- ・大分県FAMツアー(R6.1.18~19)  
宮崎県の旅行事業者に杵築、佐伯の  
旬な観光スポットを紹介(15名参加)



FAMツアーでの城下町散策

## ツール・ド・九州推進事業

### ○ツール・ド・九州

- ・サイクリスポーツの普及拡大とサイクルツーリズムを通じた地域活性化を図るため九州・山口で連携し開催
- ・第1回大会が2023年10月に行われ、大分ステージは日田市を舞台に熱いレースが繰り広げられた
- ・大分ステージには約27,000人の観客が訪れ、大会を通して本県の魅力をPRした



フィニッシュ付近の様子



副賞(小鹿田焼)の贈呈

## インバウンド推進事業(再掲)

### ○SNS等を活用した海外への情報発信

- ・留学生と連携して海外向け観光動画を制作し発信したほか、各種SNSを活用して旬な情報をタイムリーに発信
- ・留学生との連携  
(53名参加、動画22本を制作・配信)



沸騰大分

### ・SNSを活用した情報発信 ※R6.3.8(現在)

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| Facebook・Instagram(英) | フォロワー計6.7万人      |
| Weibo・Wechat(繁体)      | フォロワー計29.7万人     |
| Youtube(英ほか)          | チャンネル登録数数万人3.9万人 |



## 観光誘客緊急対策事業

### ○全国旅行支援(新しいおおいた旅割第2弾)

#### 【実施期間】

R4.10.11~R5.10.31

#### 【制度内容】

- ・宿泊割引、地域クーポンの対象を全国に拡大して誘客を促進
- ・宿泊割引 3,000円上限/泊(交通付は5,000円)
- ・地域クーポン 平日2,000円/泊、休日1,000円/泊



## 国内観光需要回復促進事業(再掲)

### ○おおいた旅得キャンペーン

#### 【実施期間】

R5.12.1~R6.2.29

#### 【制度内容】

- ・全国旅行支援終了後の反動減対策、更なる観光需要喚起策として実施
- ・地域クーポン(電子のみ) 3,000円/人・泊  
 ※対象は6,000円以上の宿泊プラン、もしくは8,000円以上の交通付き旅行プラン(日帰り含む)



## 国内誘客総合推進事業(再掲)

### ○九州観光機構素材商談会

- ・東京(R5.8.22、R6.3.4)
- ・大阪(R5.8.24、R6.3.5)
- ・福岡(R5.8.29、R6.3.8)



ツーリズム商談会エキスカッション(日出)

### ○ツーリズム商談会(R5.9.28~29)

- ・旅行会社等との商談会(54社114名参加)
- ・エキスカッション(15コース98名参加)



ツーリズムEXPOでのPR

### ○ツーリズムEXPOジャパン(R5.10.26~29大阪)

- ・市町とともにブース出展を行い、B向け及びC向けに大分の観光地をPR

## インバウンド推進事業(再掲)

### ○戦略パートナーを活用した誘客対策

- ・各市場に精通した旅行会社等を戦略パートナーとして設置し、年間を通じて現地旅行会社向けのセールスや情報発信等を実施
- ・戦略国・地域 韓国、中国、香港、台湾、シンガポール、タイ、ベトナム、欧州、大洋州
- ・主な取組 県単独商談会、旅行会社向けセミナー、旅行博出展、インフルエンサー招請等



商談会



旅行会社セミナー

## 観光案内標識・Wi-Fi

### ○観光案内標識の多言語化

- ・外国人観光客等が目的地へ安心して移動できるよう多言語表示に対応
- ・R5年度は、広域案内標識46基、F型標識88基を整備



観光案内標識 多言語対応

### ○おんせんおおいたWi-Fiの導入

- ・外国人旅行者の利便性の向上や県内の観光・交通情報の発信力強化などを目的として導入
- ・R5年度は、22アクセスポイント更新済み



おんせんおおいたWi-Fi+

## 観光案内所連携強化

### ○観光案内所連絡会

- ・各地域の連携を強化し、観光客に県内周遊を促すため、観光案内所職員等を対象にR2年度から実施
- ・R5年度は33名が参加し、福岡・大分DCに向けた各地域のイベント等を共有 (R6.2.28)



観光案内所連絡会



## 大分空港海上アクセス整備事業

### ○ホーバークラフト船舶調達、発着地整備

- ・イギリスで建造されたホーバークラフト3隻は、本年秋から運行開始予定
- ・西大分と国東のホーバークラフト発着地に、なだらかに空へと向かって上昇する外観のターミナルが完成



ホーバークラフト1番船Baian



ホーバーターミナルおおいた (HOV, OTA)

## 九州の東の玄関口としての拠点化推進事業

### ○県内外を結ぶ交通ネットワークの充実に向けた取組

- ・航空会社やフェリー会社と連携を図りながら本県の魅力を発信し、利用促進を図った
- ・R5.6にチェジュ航空が大分—ソウル線に就航し、約4年ぶりに大分空港国際線が再開
- ・大韓航空も運航再開 (R6.1~3)
- ・R6.2に新規路線誘致に向け、大分—台北の双方向チャーター便運航



R5.6に運航を開始したチェジュ航空

## MaaS推進事業

### ○大分空港を起点としたMaaS推進に係る支援

- ・令和4年度に引続きMaaSアプリ「my route」のサービスを展開
- ・令和6年夏頃に本格運用を予定している「九州MaaS」に備え、関係者と連携し、準備を進めている



MaaSアプリ「my route」



## 宿泊業経営力強化加速化事業

### ○宿泊業経営力強化加速化事業補助金

・宿泊事業者の人手不足対策や新規顧客開拓を進めるため、DXの導入による業務効率化、ユニバーサルツーリズム対応のため施設整備に取り組む事業者を支援



自動精算機

・R5年度 20件採択(補助額24,680千円)(支援例)

自動精算機、ロボット掃除機の導入 等



ロボット掃除機

### ○宿泊業の人材確保事業

・若い世代の採用に有効なインターンシップの活用等宿泊事業者の人材確保を支援するセミナーや観光系専門学校等とのマッチングを開催



人材確保支援セミナー

・R5年度の実績

セミナー 1/23 参加事業者 9社11名  
 マッチング 2/1 参加事業者 18社  
 参加専門学校 9校



専門学校と事業者のマッチング

### ○外国人材の受入

・別府市旅館ホテル組合連合会とベトナム・ホーチン市の3大学との、人材確保の協力に関する覚書の締結を支援(R5年10月)。今後、インターンシップ等を活用したベトナムの外国人材受け入れを推進



ベトナム大学との覚書締結

・覚書締結大学

- ①ホーチン市工業大学
- ②ヴァンラン大学
- ③ホーチン市外国語・情報科学大学



学生への旅館ホテルの仕事紹介

## おもてなし人材育成事業

### ○おおいたツーリズム大学

・地域資源を生かしたツーリズムの振興やネットワークづくりを通じた地域リーダー育成を目的としてH19年開始



ワークショップ

・修了生は合計374名(R5修了生含む)

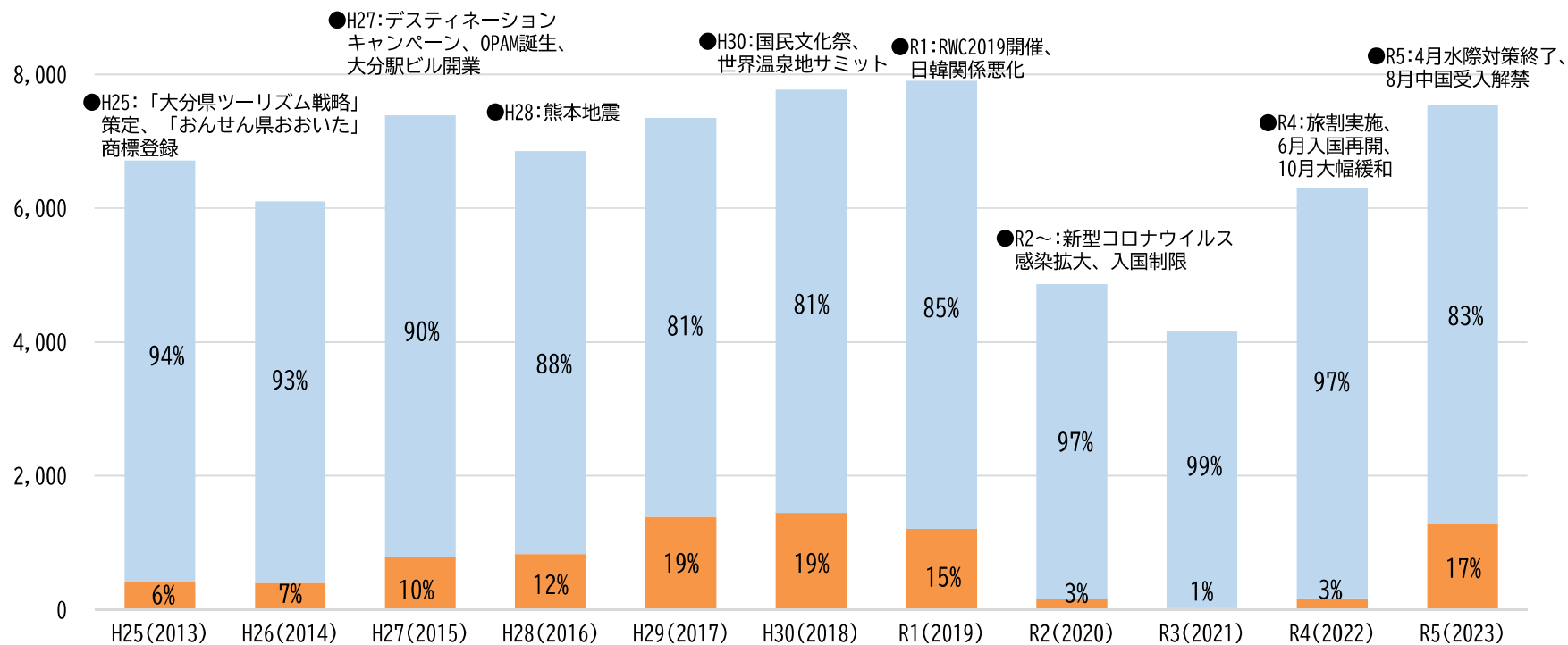
・R5年度は16名が受講し、地域の課題解決に向けて講義や体験、視察等を7月～3月にかけて計10回実施



県外視察研修(広島県尾道市ほか)

## 2. 県内宿泊者数の動向について

**【宿泊者数の推移】**（観光庁 宿泊旅行統計調査）（単位：千人）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (速報)
日本人延べ宿泊客数 (千人)	6,301	5,701	6,614	6,025	5,963	6,332	6,696	4,698	4,135	6,132	6,259
外国人延べ宿泊客数 (千人)	410	400	774	827	1,387	1,442	1,207	162	25	170	1,281
合計 (千人)	6,711	6,101	7,388	6,852	7,350	7,774	7,903	4,860	4,160	6,302	7,540





# 日本一の おんせん県おおいた 県内宿泊者数の動向

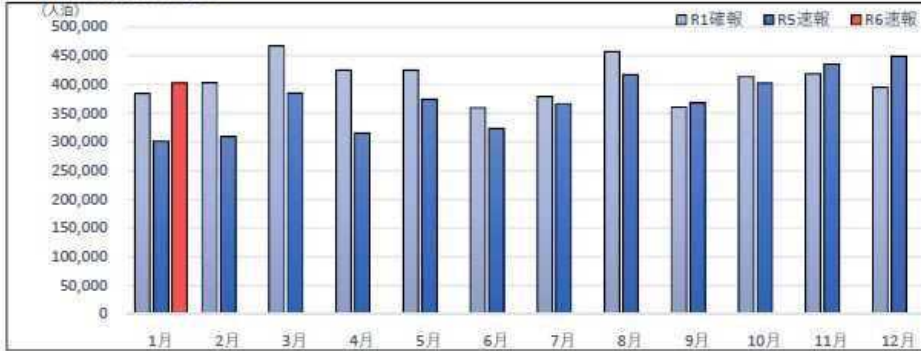
味力も満載

## 令和6年1月の宿泊客等の動向

令和6年2月 観光政策課

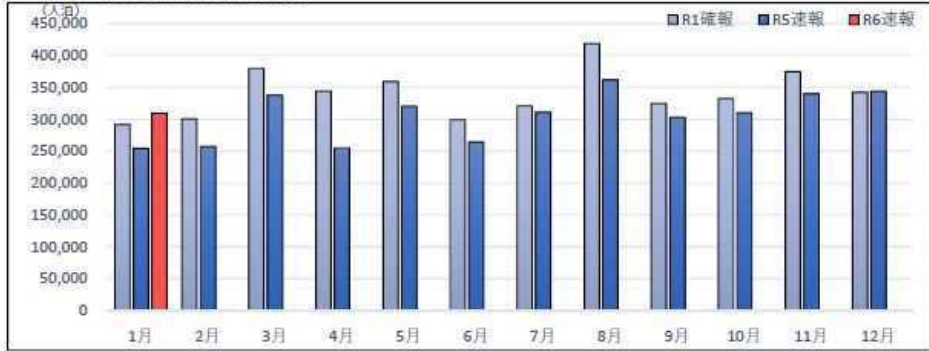
- 延べ宿泊客数は昨年と比較し33.8%増加、令和元年と比較しても4.7%増加した。
- インバウンドも韓国、台湾等を中心に好調。昨年と比較して100.3%増加した。

### (1) 宿泊客の動向



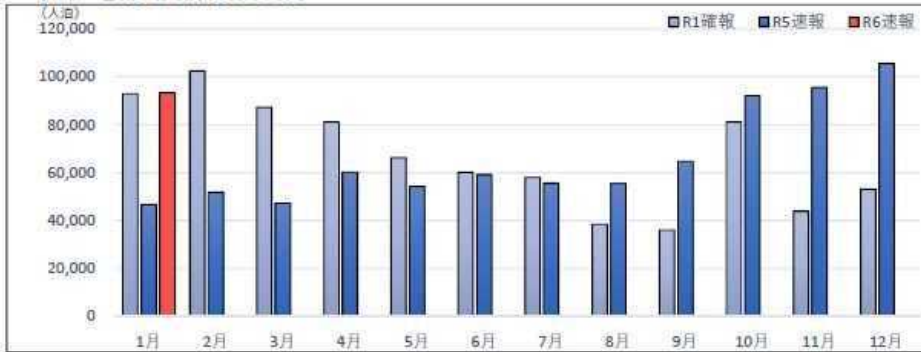
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R6 人泊	402,768											
R5 人泊	301,021	309,402	385,016	315,589	374,599	323,568	366,518	417,208	367,892	402,293	435,574	449,527
R6 : R5同月比	33.8											
R1 人泊	384,580	403,126	467,073	425,168	425,408	359,448	379,025	457,264	360,774	413,541	418,460	395,187
R6 : R1同月比	4.7											

### (1) -①日本人宿泊客の動向



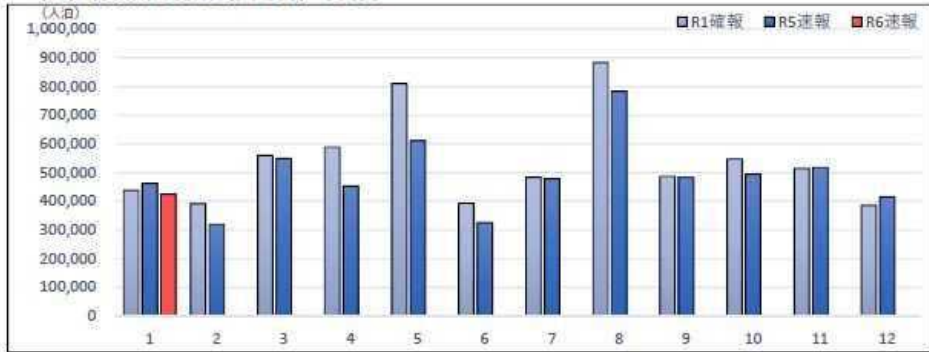
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R6 人泊	309,471											
R5 人泊	254,434	257,529	337,790	255,396	320,452	264,515	310,959	361,795	303,180	310,171	340,060	343,955
R6 : R5同月比	21.6											
R1 人泊	291,570	300,601	379,814	344,050	359,273	299,349	321,025	418,861	324,803	332,405	374,601	342,143
R6 : R1同月比	6.1											

### (1) -②外国人宿泊客の動向



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R6 人泊	93,294											
R5 人泊	46,587	51,873	47,226	60,193	54,147	59,053	55,559	55,413	64,712	92,122	95,514	105,572
R6 : R5同月比	100.3											
R1 人泊	93,010	102,525	87,259	81,118	66,135	60,099	58,000	38,403	35,971	81,136	43,859	53,044
R6 : R1同月比	0.3											

### (2) 有料観光施設(入場客)の動向



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R6 人	424,971											
R5 人	462,623	319,407	548,767	452,962	610,736	326,070	478,318	783,731	482,886	494,382	518,035	414,743
R6 : R5同月比	▲ 8.1											
R1 人	437,981	391,929	559,583	588,202	810,558	393,512	483,893	883,058	487,057	547,408	513,691	385,389
R6 : R1同月比	▲ 3.0											



## 令和6年1月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位:人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和6年1月(速報値)	43,563	89,012	45,131	6,908	18,646	31,027	13,300	56,403	5,481	309,471
令和5年1月(速報値)	39,215	72,382	36,273	5,447	15,791	23,234	9,741	48,343	4,008	254,434
前年同月比	+ 11.1	+ 23.0	+ 24.4	+ 26.8	+ 18.1	+ 33.5	+ 36.5	+ 16.7	+ 36.8	+ 21.6
令和元年1月(確報値)	54,766	83,612	44,806	8,550	22,153	22,718	9,400	41,582	3,983	291,570
(コロナ禍前)令和元年同月比	▲ 20.5	+ 6.5	+ 0.7	▲ 19.2	▲ 15.8	+ 36.6	+ 41.5	+ 35.6	+ 37.6	+ 6.1
令和5年12月(速報値)	55,264	95,283	51,565	7,537	20,594	32,155	13,969	62,155	5,433	343,955
前月比	▲ 21.2	▲ 6.6	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 9.5	▲ 3.5	▲ 4.8	▲ 9.3	+ 0.9	▲ 10.0

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和6年1月(速報値)	56,903	5,315	10,165	13,648	3,182	1,815	2,266	93,294
令和5年1月(速報値)	32,195	644	2,868	5,363	2,692	1,634	1,191	46,587
前年同月比	+ 76.7	+ 725.3	+ 254.4	+ 154.5	+ 18.2	+ 11.1	+ 90.3	+ 100.3
令和元年1月(確報値)	64,569	8,191	5,034	12,010	959	1,225	1,022	93,010
(コロナ禍前)令和元年同月比	▲ 11.9	▲ 35.1	+ 101.9	+ 13.6	+ 231.8	+ 48.2	+ 121.7	+ 0.3
令和5年12月(速報値)	55,023	5,494	17,038	12,131	5,723	5,902	4,261	105,572
前月比	+ 3.4	▲ 3.3	▲ 40.3	+ 12.5	▲ 44.4	▲ 69.2	▲ 46.8	▲ 11.6

【全体】

	合計
令和6年1月(速報値)	402,765
令和5年1月(速報値)	301,021
前年同月比	+ 33.8
令和元年1月(確報値)	384,580
(コロナ禍前)令和元年同月比	+ 4.7
令和5年12月(速報値)	449,527
前月比	▲ 10.4

- ①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設(189施設 令和6年1月時点)
- ②令和元年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。
- ③発地別延べ宿泊者数は、確報の公表時に大きく変更されることがあります。

### **3. 令和6年度当初予算（案）及び 令和5年度2月補正予算**



# 令和6年度当初予算(案)

事業名	令和6年度 当初予算額	(項) 観光費			(一般財源) 令和5年度 7月現計予算額	事業概要
		左の財源内訳				
		国庫支出金	その他	一般財源		(単位 千円) 目 観光総務費
国内誘客総合推進事業費	174,482	36,526	繰入金 137,956	0	( 283,402 )	◎ DC本番年における国内旅行者の誘客及び県内周遊を促進するため、プロモーションを強化するとともに、リピーター創出に取り組むほか、デジタルマーケティング手法の活用、教育旅行などの団体旅行の誘致も含めた総合的な誘客対策に要する経費 ○DC本番期間での誘客促進に要する経費 38,999 ◎DCのレガシー創出・アフター対策に要する経費 29,500 ○デジタルマーケティングを活用した誘客対策に要する経費 34,283 ○主要圏域別の誘客促進に要する経費 28,139 ○団体誘客推進に要する経費 21,390 ○県内グリーンツーリズム組織の体制強化と活性化に要する経費 2,000 ○情報発信（HP・ガイドブック等）事業等に要する経費 20,171
DESTINATIONキャンペーン推進事業費	9,168			9,168	( 30,070 )	◎ 大分・福岡DESTINATIONキャンペーン開催に要する経費 ○DC実行委員会負担金 9,168
農山漁村ツーリズム推進事業費	3,770	2,500		1,270	( 1,270 ) 3,770	◎ 都市住民が農山漁村に滞在し、農作業体験や地元住民と交流するグリーンツーリズムを推進するため、情報発信や研修会開催等に要する経費 ○受入地域等レベルアップ研修に要する経費 616 ○農山漁村ツーリズム情報発信に要する経費 2,745 ○農山漁村ツーリズム推進会議に要する経費 126 ○職員旅費等 283
宿泊業経営力強化加速化事業費	40,680	32,442		8,238	( 4,213 ) 35,840	◎ 宿泊事業者の経営力強化を加速するため、業務省力化のための機器の導入や、ユニバーサルツーリズムへの対応、人材確保に取り組む事業者の支援及び統計データ活用等に関する経費 ○宿泊業経営力強化加速化事業費補助金経費 25,000 ◎宿泊業の人材確保支援に関する経費 11,159 ○大分県観光統計システム利用拡大事業に関する委託料 4,521
広域ツーリズム推進事業費	50,023			50,023	( 43,007 ) 43,007	◎ 広域観光による誘客を図るため、本県単独の取組に加え、隣県や広域観光推進組織と連携した誘客対策の実施に要する経費 ◎せとうちエリア連携誘客事業に要する経費 4,010 ○九州横断軸連携（大分・熊本・長崎）事業に要する経費 1,650 ◎やまなみ連携事業に要する経費 5,400 ○広域観光推進組織等との連携事業に要する負担金 38,489 ○職員旅費等 474

# 令和6年度当初予算(案)

事業名	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳			(一般財源) 令和5年度 7月現計予算額	事業概要
		国庫支出 金	その他	一般財源		
インバウンド推進事業費	287,969	120,951	繰入金 167,018	0	( 185,792 )	◎ 東アジアをはじめ、ASEAN諸国、欧州・大洋州・米国からの観光誘客を図るため、国・地域ごとのニーズに応じた情報発信・誘客対策に要する経費 ○東アジア誘客促進に関する経費 89,845 ○ASEAN諸国誘客促進に関する経費 27,005 ○欧州・大洋州・米国誘客促進に関する経費 75,454 ◎ (うち米国誘客促進に関する経費 18,267) ○観光コンテンツの高付加価値化に関する経費 10,000 ○情報発信等に関する経費 77,045 ○職員旅費等 8,620
ツーリズム推進基盤強化事業費	95,550	27,033	繰入金 68,517	0	( 42,089 ) 66,480	◎ 観光客の受入を強化するため、観光統計調査等の分析や、着地型コンテンツの開発支援及び自然体験ガイド登録制度の活用等によるアドベンチャーツーリズムの推進に要する経費 ○マーケティング機能等強化に関する経費 61,082 ◎ アドベンチャーツーリズムの推進に関する経費 7,618 ○アウトドアガイド認証制度運用費負担金 5,620 ○地域資源活用型観光サービスの開発支援に関する経費 20,076 ○職員旅費等 1,154
大分のサイクル魅力発信事業費	17,774	8,347		9,427	( 9,427 ) 17,774	◎ ツール・ド・九州を契機に県内のサイクルツーリズムの推進を図るため、民間事業者等と連携して、サイクルを活用した滞在型観光モデルコースの設定、情報発信等に要する経費 ○サイクルを活用した観光モデルコース設定等に要する経費 10,529 ○サイクルイベント等情報発信に要する経費 5,245 ○九州各県連携サイクル事業負担金 2,000

(単位：千円)

事業名	予算案	事業の概要	所管課
国内誘客総合推進事業	351,055	<p>【新】福岡・大分デスティネーションキャンペーンにおける県内観光需要と観光消費拡大を促進するため、旅行会社と連携した誘客対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社による商品造成及び販売促進に要する経費への助成</li> <li>・宿泊予約サイトと連携したポイント還元キャンペーンの実施</li> <li>・県内周遊バスツアー実施に要する経費への助成</li> <li>・現地ツアー専門サイト等を活用した体験型観光コンテンツのプロモーションの実施</li> </ul>	観光誘致促進室



## 福岡・大分DCの成功に向けた誘客及び周遊促進策（令和5年度2月補正）

### 大分・福岡DCの概要

開催期間：R6.4.1～R6.6.30

開催期間中の県内経済波及効果目標：120億円（前回DC目標：100億円） ※福岡県（230億円）との計350億円

### 誘客における対策

- (1) 旅行会社経由の誘客対策 → 旅行会社手配ニーズが高い高齢者や富裕層の取込み
- (2) 宿泊予約サイト経由の誘客対策 → 自身で個別手配を好む若年層や家族層の取込み
- (3) 県内周遊促進に向けた対策 → 宿泊施設が集中する別府・由布院・大分から他地域への周遊を促進  
DC効果を県全体に波及

## 旅行会社等事業者と連携した誘客策と県内周遊策の強化

### 1. 旅行会社等と連携した誘客対策

#### (1) 旅行会社と連携した商品造成促進・販売促進

- ① 県内を目的地とする旅行商品の造成や販売促進
- ② WEB特設サイトの制作や店頭フェアの実施による露出向上  
→ 送客実績に応じた支援を実施  
支援イメージ：千円/送客人（上限設定）

#### (2) OTAと連携した周遊プロモーションの実施

- ① ポイント還元キャンペーン  
・サイトで宿泊予約した旅行者が県内対象店舗で買い物等を行った際にポイントを還元  
→ 還元イメージ：還元率20%（上限額5千円）
- ② 楽天、じゃらんを活用したプロモーション  
・各サイト内に専用LPを設定し、県内での各キャンペーンや本県の魅力をプロモーション

### 2. 県内周遊の促進・県内観光コンテンツの利用促進

#### (1) 県内中小旅行会社と連携した県内周遊の促進

- ① 県内の主要宿泊地である別府・由布院・大分を発着地とする日帰りバスツアーの造成を支援  
〔ツアー例〕  
別府駅発＝安心院葡萄酒工房＝宇佐神宮＝別府駅  
大分駅発＝歴史と文学の道＝昼食＝海の市＝大分駅

#### (2) 県内観光コンテンツの利用促進

- ① 着地型旅行商品サイトと連携したプロモーション  
・サイトへの商品掲載、大分県専用LP設置
- ② 宿泊者向け専用パンフレットの制作と販売促進  
・旅行会社店舗や宿泊施設等での周知

## 4. 次期ツアーリズム戦略

## 安心・活力・発展プラン2015

県行財政運営の長期的、総合的な指針を示したものであり、県民と行政が目指すべき目標を共有し、その実現に向けてともに努力する内容を明らかにするもの

計画の期間：平成27年度（2015年度）～令和6年度（2024年度）までの10年間

時代の潮流を踏まえた新たな長期総合計画を令和6年度中に策定予定

＜人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進＞※現行計画

- (1) 国内誘客の推進と海外誘客（インバウンド）の加速
- (2) おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の振興

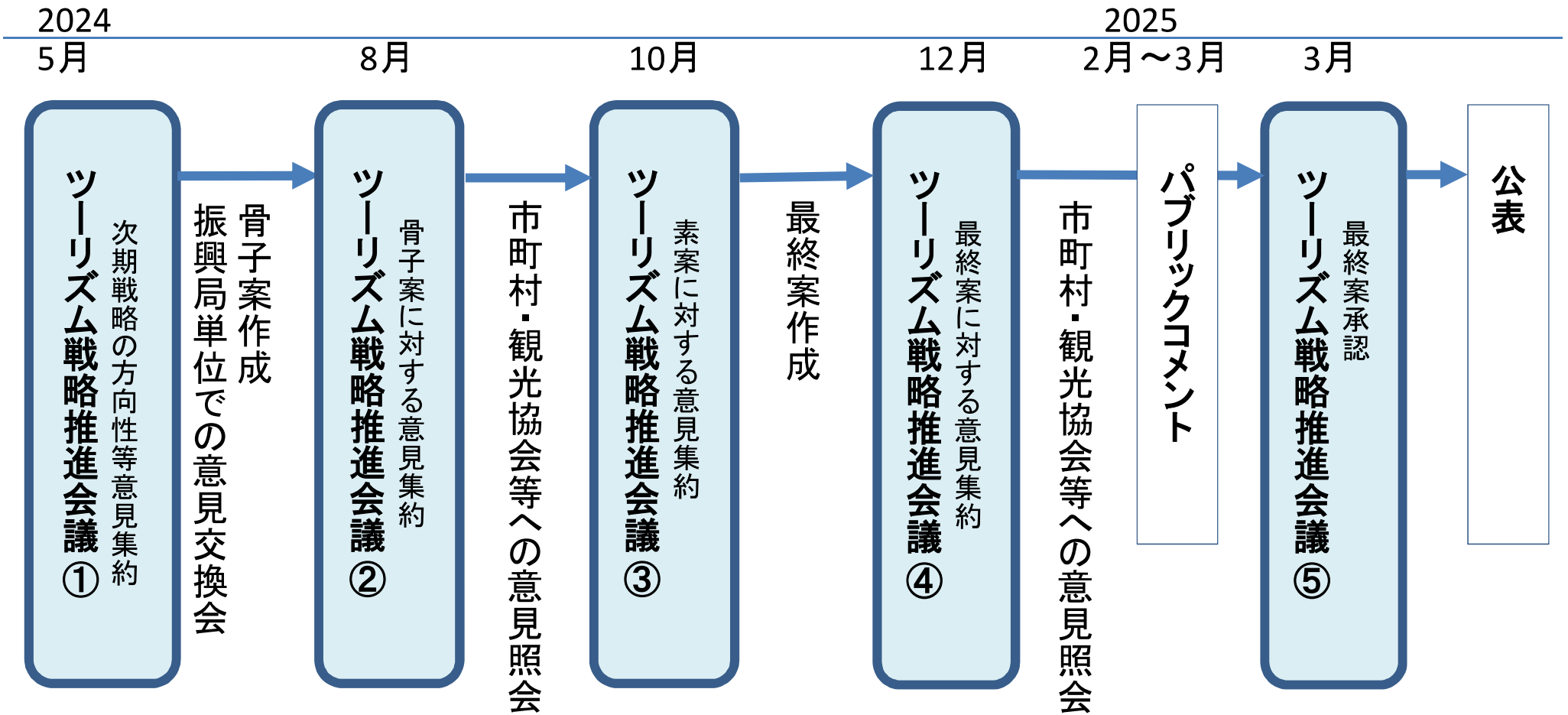
### アクションプラン (行動計画)

## 日本一のおんせん県おおいたツーリズム戦略

おんせん県おおいた観光振興条例（平成27年大分県条例第20号）  
(観光振興基本計画)

第十九条 知事は、観光の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、観光の振興に関する基本的な計画(以下「観光振興基本計画」という。)を定めなければならない

第1期戦略	2012年度～2015年度	(戦略1)地域の観光素材磨き、(戦略2)誘客、(戦略3)情報発信、(戦略4)広域観光、(戦略5)戦略ある現場主義の推進
第2期戦略	2016年度～2018年度	(戦略1)地域の観光素材磨き、(戦略2)誘客、(戦略3)ブランド力の向上、(戦略4)県域を越えた連携による観光の推進、(戦略5)戦略ある現場主義の推進
第3期戦略	2019年度～2021年度	(戦略1)地域の観光素材磨き、(戦略2)情報発信とブランド力の向上、(戦略3)ターゲットに応じた誘客、(戦略4)安心で快適な旅を支える態勢整備、(戦略5)観光産業の振興と観光人材の確保育成
第4期戦略	2022年度～2024年度	(戦略1)地域素材の磨き上げ、(戦略2)“おおいた”の魅力向上と効果的な情報発信、(戦略3)ポストコロナ時代に向けた戦略的な誘客、(戦略4)多様化する旅行ニーズに対応する受入環境の整備、(戦略5)DX導入や人材の確保・育成等による観光産業の振興





## 【元気3】地域の特色を活かしたツーリズムの推進と観光産業の振興

### (1) 地域に元気をもたらす国内誘客・海外誘客(インバウンド)の推進

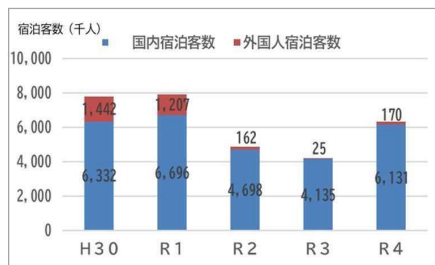
#### 10年後の目指す姿

- ◆国内外の観光客が、温泉に加え、地域の特色を生かしたバラエティに富む観光資源を堪能するため本県を繰り返し訪れ、長期に滞在し、県内各地を周遊するなど、交流人口が拡大している。
- ◆世界中から多くの旅行者が訪れる国際的に有名な観光地となったことで、複数の国から海外直行便が就航している。
- ◆訪日教育旅行やビジネス、国際スポーツ大会等、多様な目的での国際的な人的交流が進んでいる。

#### 現状と課題

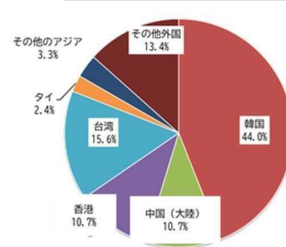
- 人口減少や高齢化により、国内観光客が長期的には減少することが予想されています。このため、多様化する観光ニーズに対応し、リピート頻度をさらに高める必要があります。また、県内に立ち寄る観光客は別府市、由布市に集中しているため、県内各地への周遊を促すことも必要です。
- 急増するインバウンドについては、本県への来訪が多いアジア地域に加え、欧米・大洋州の富裕層など新たなターゲットの取込みが重要です。大分空港国際線は韓国のみであり、今後、台湾、中国その他アジア地域からの複数の国際線就航や東アジアのハブ空港を経由した欧米・大洋州等との乗継需要の取込みが必要です。
- 県内では、宇佐神宮創建1300年、国内においても2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)や2027年国際園芸博覧会(神奈川県横浜市)など、観光の起爆剤となるイベントが多数開催され、インバウンドの地方誘客が期待されています。

観光庁宿泊旅行統計調査



出典：観光庁宿泊旅行統計調査

外国人宿泊客の構成比(R1)



出典：観光庁宿泊旅行統計調査

## ～世界に選ばれるおんせん県おおいた～

【観光局】

#### 主な取組

##### ①戦略的な誘客プロモーションの実施

- ・首都圏、関西、福岡など圏域ごとの特性を踏まえた国内からの新規誘客とリピーターの創出
- ・県内周遊の促進に向けた別府、由布院に次ぐ誘客拠点の創出と空港や駅から観光地までのアクセス向上を含めた商品造成
- ・国や地域ごとのニーズを踏まえた高付加価値コンテンツの充実によるインバウンドの促進
- ・国別の観光戦略パートナーやJNTO<sup>※1</sup>、海外事務所等の多様なチャネルを活用した情報発信
- ・デジタルマーケティングやビックデータを活用した効果的なプロモーションの実施



藍染め体験の様子

##### ②広域周遊観光の推進

- ・九州、瀬戸内等の自治体やDMO<sup>※2</sup>等と連携した広域観光周遊ルートの確立
- ・航空機や鉄道、フェリー等の交通事業者との連携による誘客の促進



九州横断3県長崎・熊本・大分観光プロモーション

##### ③様々な旅行形態の誘致

- ・国際的な学会、企業の報奨旅行などMICE<sup>※3</sup>の誘致
- ・海外の自治体や学校、旅行会社等と連携した訪日教育旅行の誘致
- ・新規国際航空路線や高級外航クルーズ船等の誘致
- ・ツール・ド・九州などの国際的スポーツ大会や合宿誘致を通じた誘客(スポーツツーリズム)



訪日教育旅行の様子

#### 想定する目標指標

##### ①県内宿泊客数(千人)

【考え方】プロモーションの実施による誘客効果を計測するため

##### ②外国人宿泊客数(千人)

【考え方】プロモーションの実施による誘客効果を計測するため

※1 日本政府観光局(Japan National Tourism Organization、正式名称：独立行政法人国際観光振興機構)のこと。海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的としている

※2 様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について地域が主体となって行う観光地域づくりの推進組織

※3 企業などの会議(Meeting)、企業などの行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行: Incentive Travel)、国際機関・団体、学会などが行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event, Exhibition)の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

## 【元気3】地域の特色を活かしたツーリズムの推進と観光産業の振興

# (2) 住んでよし、訪れてよしの持続可能な観光地域づくり

### 10年後の目指す姿

- ◆地域の文化・環境保全と観光振興が両立し、地域住民と観光客双方にとって満足度の高い観光地域づくりが進んでいる。
- ◆県民一人ひとりにおもてなしの心が根付いており、年齢や性別、障がいの有無、言語の違いにかかわらず、誰もが快適な旅行を楽しめる環境が観光客を魅了している。
- ◆観光産業の安定的な収益が確保され、従事する人にとって働きやすく魅力的な就業先になり、事業者が人手不足に悩まされることなく持続的に成長できている。

### 現状と課題

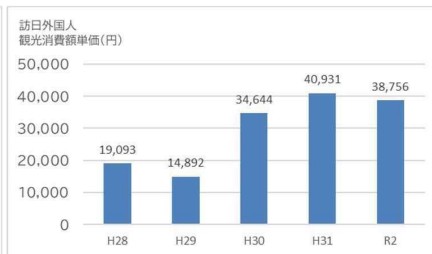
- コロナ禍を経た旅行需要の変化により、世界的に「持続可能な観光」への関心が高まっています。特に、アクティビティを通じてその地域ならではの自然や文化が体験できるアドベンチャーツーリズム<sup>※1</sup>が注目を集めています。  
また、観光客の増加による交通渋滞やゴミ、トイレのマナー違反など、オーバーツーリズムへの対応が必要となっています。
- 「ユニバーサルデザイン2020行動計画」の策定や「LGBT理解増進法」の成立など、多様性を認め合い、誰もが生き生きとした人生を享受できる「共生社会」の実現が求められています。このため、誰もが快適に旅行を楽しめる環境をつくっていくことが重要です。
- 宿泊業は大半が中小企業で、労働生産性が全産業平均の約4割と低いことに加え、社会情勢の影響を受けやすく、特に人材不足が深刻化しています。
- ツーリズムおおいた<sup>※2</sup>が唯一の県域版DMO<sup>※3</sup>として県内の観光諸事業を牽引するため、その態勢の充実・強化を図る必要があります。

大分県観光消費額と観光消費額単価の推移



出典：観光庁共通基準による観光入込客統計

大分県の訪日外国人の観光消費額単価の推移



出典：観光庁共通基準による観光入込客統計

※1 「アクティビティ」、「自然」、「異文化体験」の3つの要素のうち2つ以上で構成される旅行形態のこと (Adventure Travel Trade Associationによる定義)  
 ※2 県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化をはかり、併せて健全な観光旅行の普及発展と国際観光の振興を促し、それによって県民の生活・文化・経済の向上発展・国際親善に寄与することを目的とした団体  
 ※3 様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について地域が主体となって行う観光地域づくりの推進組織

## ～世界に選ばれるおんせん県おおいた～

【商工観光労働部】

### 主な取組

#### ①おんせん県ならではの地域資源を活かした滞在型観光の推進

- ・ユネスコエコパーク、日本ジオパーク、くじゅう連山などの雄大な自然を活用したアドベンチャーツーリズムやサイクルツーリズムの推進
- ・宇佐神宮や六郷満山などの歴史資源や文化を活用したカルチャーツーリズム<sup>※4</sup>の推進
- ・日本一の温泉資源を活かした湯治・ウェルネスツーリズムの推進
- ・豊かな食材や質の高い地酒、焼酎、ワインなどを活用したガストロノミーツーリズム<sup>※5</sup>の推進
- ・農山漁村の豊かな自然、文化、暮らしを体験するグリーンツーリズムの推進



国東半島峯道ロングトレイル

#### ②誰もが快適に観光できる環境整備

- ・ユニバーサルツーリズム<sup>※6</sup>推進に向けた普及啓発と取組の強化
- ・多言語化、キャッシュレス化、通信環境の充実
- ・ライドシェアや次世代モビリティ等の導入
- ・観光地へのアクセス道路の整備、魅力ある景観の保全・形成
- ・市町村等と連携したオーバーツーリズムの未然防止・抑制
- ・大規模災害時における的確な情報提供



自動精算システムの導入

#### ③観光産業の経営力強化と人材の確保・育成

- ・自動精算システム導入などDX化の支援
- ・労働環境整備や処遇改善の促進、働く魅力の情報発信
- ・新規卒卒者向けの就職説明会など、高等学校や大学等と連携した人材確保
- ・UIJ希望者、女性、シニア、外国人と宿泊事業者とのマッチング支援
- ・大分らしいガイド人材や次世代の観光地域づくりを担う人材の育成、ネットワークづくり

#### ④観光地域づくりを支えるDMOや観光協会等の機能強化と活性化

- ・ツーリズムおおいたのマーケティング機能や企画立案機能の強化
- ・ツーリズムおおいたによる地域観光協会やDMO、観光案内所等の機能強化支援及び観光関係者間の連携強化

### 想定する目標指標

#### ①観光消費額 (億円)

【考え方】滞在型観光の推進による消費額増加の効果を計測するため

※4 日本独自の歴史に根ざした文化財、伝統的な祭りや芸能、工芸、生活文化などに触れ、これらに関する知識を深めることを目的とする観光のこと。  
 ※5 その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的とした観光のこと  
 ※6 すべての人が楽しめるよう創られ、高齢や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行のこと